

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(pg/g-dry)
 地方公共団体:宮崎県
 調査地点:大淀川河口(宮崎市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] 総PCB	37	※3.3	※8.5
[1-1] モノクロロビフェニル類	nd	0.4	1.1
[1-2] ジクロロビフェニル類	5.0	0.2	0.6
[1-3] トリクロロビフェニル類	10	0.3	0.7
[1-4] テトラクロロビフェニル類	8.7	0.2	0.5
[1-4-1] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (#77)	nd	0.2	0.5
[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (#81)	nd	0.2	0.5
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	9.3	0.2	0.5
[1-5-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (#105)	0.9	0.2	0.5
[1-5-2] コプラナーPCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#114)	nd	0.2	0.5
[1-5-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#118)	1.8	0.2	0.5
[1-5-4] コプラナーPCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#123)	nd	0.2	0.5
[1-5-5] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#126)	nd	0.2	0.5
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	3.7	0.4	1.1
[1-6-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#156)	nd	0.4	1.1
[1-6-2] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#157)	nd	0.4	1.1
[1-6-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#167)	nd	0.4	1.1
[1-6-4] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#169)	nd	0.4	1.1
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	tr(0.4)	0.3	0.8
[1-7-1] コプラナーPCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (#170)	nd	0.3	0.8
[1-7-2] コプラナーPCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#180)	tr(0.4)	0.3	0.8
[1-7-3] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#189)	nd	0.3	0.8
[1-8] オクタクロロビフェニル類	nd	0.4	1.0
[1-9] ノナクロロビフェニル類	nd	0.2	0.5
[1-10] デカクロロビフェニル	nd	0.7	1.7
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	9.8	0.4	0.9
[11] HCH類	460	※1.5	※3.8
[11-1] α-HCH	83	0.4	1.1
[11-2] β-HCH	310	0.5	1.2
[11-3] γ-HCH (別名:リンデン)	35	0.4	1.0
[11-4] δ-HCH	29	0.2	0.5
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	130	※13	※30
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	nd	2	5
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	nd	2	5
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	nd	1	3
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	nd	1	3
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	nd	2	4
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	nd	2	4
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	nd	2	4
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	nd	3	6
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#175) 及び[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#183)	nd	3	6
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	nd	1	3
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	9	2	5
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	120	2	4
[15] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	13	4	9
[16] ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	27	2	5
[17] ペンタクロロベンゼン	4.8	0.4	0.9

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※: 定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:底質(pg/g-dry)
 地方公共団体:宮崎県
 調査地点:大淀川河口(宮崎市)

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[20] 総ポリ塩化ナフタレン	94	※2.7	※7.3
[20-1] モノ塩化ナフタレン類	tr(1.7)	0.9	2.3
[20-2] ジ塩化ナフタレン類	tr(0.7)	0.6	1.5
[20-3] トリ塩化ナフタレン類	7.9	0.2	0.5
[20-4] テトラ塩化ナフタレン類	58	0.2	0.5
[20-5] ペンタ塩化ナフタレン類	26	0.2	0.6
[20-6] ヘキサ塩化ナフタレン類	nd	0.3	0.9
[20-7] ヘプタ塩化ナフタレン類	nd	0.1	0.4
[20-8] オクタ塩化ナフタレン	nd	0.2	0.6
[22] ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類	120	※3	※8
[22-1] ペンタクロロフェノール	33	2	6
[22-2] ペンタクロロアニソール	87	0.8	2.1
[23] 短鎖塩素化パラフィン類	nd	※4,000	※8,000
[23-1] 塩素化デカン類	nd	1,000	2,000
[23-2] 塩素化ウンデカン類	nd	1,000	2,000
[23-3] 塩素化ドデカン類	nd	1,000	2,000
[23-4] 塩素化トリデカン類	nd	1,000	2,000
[24] ジコホル	tr(3)	2	4
[25] ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	nd	5	13

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※:定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。